キャラクター名

松野一松

プレイヤー名

ポジション	ジャンク	**享年**	14歳
メインクラス	ステーシー	**暗示**	人形
サブクラス	バロック	**寵愛点**	0

初期配置	煉獄
最大行動値	10

能力値	クラス	修正	合計
武装	1	1	2
変異	3	0	3
改造	0	1	1

記憶のカケラ	内容
迷子	はぐれてしまって一人きり。あなたは何もわからないまま、泣きながら佇む。知らない道、知らない場所。そこは雑踏と同じで、周りにいるのは知らない人ばかり。それでもあの時は人がいた・・・。
日常	退屈だけれどあたたかくて、代わり映えしないけど幸せな日常。そんな日々がきっといつまでも続くと信じていたのだけれど・・・気が付けばこんな体で、こんな世界で・・・何があったのだろう。
志願	次は自分だと分かっていた。もう、人間は誰が選ばれるのかは決まっていた。自分のない、みんなのに　なりたくなかった。だから、せめて、人間として、みんなで、それに選ばれ　あったのだろうか。だって自分から、こんな、肉ごと消し、到底人間とは呼べない変じゃないか。
モルモット	白いスライムがある。実験器は、ただガビを観察していた訳じゃ無かったのだろう。おそらくに、最初に決めていた目標があったのだろう。実験できた年数は短かった。実験できるように、最低限の餌は与えていた。最低限の餌、最低限の環境。そうして、最低限の実験を行うために、最低限の知識は与えなければならなかった。
迫る足音	壁張っていた筈が破られてしまった。こんな世界で母親が死ぬなんてよくあることだ。でもみんなに妹殺しと言われて育った。つまりその依頼に一番の原因。明らかに人間とは違った変な力で来た柄下に置きつつ方法論を探すしかある。そんなみんなの存在に変わりに足首が立っていた。

未練				
対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	2	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
おそ松	保護	4	①②③④⑤	
カラ松	恋心	2	①②③④⑤	
チョロ松	保護	4	①②③④⑤	
十四松	独占	2	①②③④⑤	
トド松	友情	2	①②③④⑤	

マニューバ							
タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		足掻く		オート	なし	自身	狂気点を使って判定を振りなおす際、出目が+１される
メインクラス		肉の盾		ダメージ	なし	0〜1	ダメージに付属する効果を全て打ち消す。
メインクラス		失敗作		オート	なし	自身	攻撃判定・切断判定の出目＋１
サブクラス		歪極		オート	なし	自身	レベル３の変異パーツを追加で１つ獲得する。強化値に縛られず修復可能
頭		のうみそ		オート			
頭		めだま		オート			
頭		あご		ダメージ			
頭		けもみみ		アクション	なし	自身	最大行動値＋１。このパーツを行動判定で使用した場合、大失敗してもこのパーツは損傷しない。
頭		発脛		アクション	0	0	自身に対して使用不可。移動1
頭		ボイスエフェクト		オート	2	0〜2	対象の姉妹一体と互いに対話判定を行ってよい。
頭		たからもの		オート			小さな猫のアンデッド。
頭		たからもの		ラピッド			『友情』の種。
胴		せぼね		オート			
胴		はらわた		ラピッド			
胴		はらわた		オート			
胴		やぶれひまく		アクション	なし	自身	防御2
脚		うで		アクション			
脚		あし		ジャッジ			
腕		ジョギリ		アクション	3	0	白兵攻撃4、攻撃判定の出目＋１
腕		かた		オート	4		
腕		こぶし		オート	2	0	
腕		はりつき		アクション	3	自身	移動1、移動妨害は無効
腕		くされじる		アクション	3	0〜1	肉弾攻撃１＋爆発+転倒
腕		日本刀		アクション	2	0	白兵攻撃1+切断。
腕		庇う		オート	0	0〜1	対象が受けたダメージを代わりに自身が受ける。1ターンに何度でも使用可。
脚		ほね		アクション			
メインクラス		断罪		ダメージ	0	自身	自身の白兵攻撃判定においてのみ使用可能。攻撃判定のサイコロ出目は「6」となり、いかなる高値でも振り直しはできなくなる。